



2023年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年11月14日

上場会社名 Green Earth Institute株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9212 URL <https://gei.co.jp/ja/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 伊原 智人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 浦田 隆治 (TEL) 03-5315-0531
 定時株主総会開催予定日 2023年12月22日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期の業績(2022年10月1日~2023年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	897	53.4	△106	—	△108	—	△112	—
2022年9月期	585	16.4	△99	—	△113	—	△234	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	△9.97	—	△5.2	△3.6	△11.9
2022年9月期	△22.33	—	△15.5	△5.0	△16.9

(参考) 持分法投資損益 2023年9月期 一百万円 2022年9月期 一百万円

注. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	2,672	2,110	78.9	186.93
2022年9月期	3,384	2,217	65.5	198.51

(参考) 自己資本 2023年9月期 2,108百万円 2022年9月期 2,217百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	△321	△13	△5	2,401
2022年9月期	337	△36	1,612	2,740

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期 末	第2四半期 末	第3四半期 末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2024年9月期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45	△65.1	△249	—	△250	—	△250	—	△22.24
通期	1,064	18.6	△121	—	△123	—	△124	—	△11.08

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期	11,277,700 株	2022年9月期	11,146,000 株
② 期末自己株式数	2023年9月期	36 株	2022年9月期	— 株
③ 期中平均株式数	2023年9月期	11,253,925 株	2022年9月期	10,493,003 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

2023年は欧米の物価高や金融引締めにより、経済成長は鈍化しているものの、日本においては新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方、ロシア・ウクライナ情勢や米国の金利及び日本の金利政策に関連した急激な円安の進行、原材料価格やエネルギー価格の上昇により、依然として先行き不透明な状況が続くことが見込まれます。

このような状況下であるものの、2022年度のバイオフィアウンドリ事業においては、バイオフィアウンドリ研究所の構築にあたって追加的な予算が交付されました。また、国内大手企業とのバイオ樹脂原料にかかる研究開発契約の締結や新たなアミノ酸のライセンス契約の締結に至っております。

以上の結果、当事業年度は売上高897,422千円(前年同期比53.4%増)、営業損失106,917千円(前期営業損失99,065千円)、経常損失108,156千円(前期経常損失113,873千円)となりました。当期純損失については、112,215千円(前期当期純損失234,324千円)となりました。

なお、当社はバイオリファイナリー事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

注 バイオフィアウンドリ事業は、日本における大学や企業等が保有する、バイオリファイナリー技術の商用化のための生産プロセスの開発、実証等を実施するプラットフォーム(バイオフィアウンドリ拠点)を構築、運用する事業(2021年度採択時において6年間総額54億円、このうち建屋及び設備分(20億円程度)は売上高には計上されません。)であります。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当事業年度末における流動資産は2,637,473千円となり、前事業年度末に比べ746,832千円減少いたしました。これは主に売上高に紐づく研究開発活動にかかる仕掛品が49,187千円増加した一方、バイオフィアウンドリ事業における設備投資のうちNEDOの所有分による立替金が353,580千円、現金及び預金が339,908千円、売掛金が87,640千円減少したことによるものであります。固定資産は34,624千円となり、前事業年度末に比べ34,624千円増加いたしました。これは主にリース資産が14,385千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は2,672,098千円となり、前事業年度末に比べ712,207千円減少いたしました。

② 負債

当事業年度末における流動負債は396,223千円となり、前事業年度末に比べ578,623千円減少いたしました。これは主に未払金が34,636千円増加した一方、バイオフィアウンドリ事業における設備投資等費用の概算額の入金による仮受金が636,829千円、前受金が46,050千円減少したことによるものであります。固定負債は165,385千円となり、前事業年度末に比べ26,301千円減少いたしました。これは主にリース資産の賃貸借により長期リース債務が9,897千円増加した一方、借入金の返済により長期借入金が44,810千円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は561,609千円となり、前事業年度末に比べ604,924千円減少いたしました。

③ 純資産

当事業年度末における純資産合計は2,110,488千円となり、前事業年度末に比べ107,283千円減少いたしました。これは新株予約権行使により資本金が3,906千円、資本準備金が3,906千円増加した一方、利益剰余金が112,215千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は78.9%(前事業年度末は65.5%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、本項目において「資金」という。)については、前事業年度末より339,908千円減少し、2,401,060千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、支出した資金は321,199千円(前事業年度においては337,564千円の獲得)となりました。これは主にバイオフィアウンドリ事業における設備投資のうちNEDOの所有分による立替金の減少額353,580千円、売掛金の回収に伴う売上債権の減少額87,640千円の増加要因があったものの、主としてバイオフィアウンドリ事業における設備投資等費用の概算払いによる仮受金の減少額636,829千円、税引前当期純損失108,156千円、売上高に紐づく研究開発活動にかかる仕掛品を含む棚卸資産の増加額48,488千円、前受金の減少額46,050千円の減少要因によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、支出した資金は13,410千円(前事業年度においては36,477千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出12,956千円の減少要因によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金は5,299千円(前事業年度においては1,612,812千円の資金獲得)となりました。これは主に新株予約権行使による株式の発行による収入2,772千円の増加要因があったものの、リース債務の返済による支出4,567千円、及び長期借入金の返済による支出4,070千円の減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症による世界経済への影響は、ワクチンの普及及びウイルス変異による重症化リスクの減少等により、段階的な経済活動の正常化が見込まれるものの、新たな変異株による感染拡大の可能性あります。また、ロシア・ウクライナ情勢に関して、戦争の長期化や経済制裁及びその報復措置等に関連した、円安並びに資源の供給不足及び価格上昇により、依然として先行き不透明な状況が続くことが見込まれます。

このような状況下、2024年9月期につきましては、前々事業年度においてNEDOより受託したバイオファウンドリ事業や、前事業年度において環境省より受託したバイオジェット事業及び当事業年度においてNEDOより受託したグリーンイノベーション基金事業等の国策案件が進捗することに伴い、関連するリソースを集中的に投下することにより、確実な収益化を目指してまいります。また、国内外のパートナー企業との民間案件につきましては、テクノロジーパッケージ等、既に契約済、又はそれに準ずる案件のみを業績予想に織り込むことで、より保守的で蓋然性の高い計画を策定しております。なお、新型コロナウイルス感染症による当社業績に与える影響は軽微と判断しております。

このような見通しのもと、来期は売上高1,064,521千円、営業損失121,388千円、経常損失123,276千円、当期純損失124,992千円を達成したいと考えております。

注1. バイオジェット事業は、バイオマスを用いたジェット燃料に代表される持続可能な航空燃料として、木質バイオマス由来のエタノールからバイオジェット燃料を生産する実証事業(2022年度採択時において2年間総額約2億円(税込))であります。

2. グリーンイノベーション基金事業は、「2050年カーボンニュートラル」を実現するため、経済と環境の両面の目標達成に繋がるような、野心的な2030年目標(性能、コスト、生産性、導入量、CO2削減量等)を設定した研究開発、実証から社会実装までを継続して支援する事業であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,740,969	2,401,060
売掛金	87,640	—
仕掛品	149,623	198,810
貯蔵品	2,191	1,493
前渡金	16,645	1,954
前払費用	4,016	7,427
立替金	380,307	26,726
未収消費税等	5,892	—
貸倒引当金	△2,979	—
流動資産合計	3,384,305	2,637,473
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	0	6,638
建物附属設備（純額）	0	709
機械及び装置（純額）	0	7,521
工具、器具及び備品（純額）	0	4,924
リース資産（純額）	—	14,385
有形固定資産合計	0	34,178
無形固定資産		
ソフトウェア	0	446
無形固定資産合計	0	446
固定資産合計	0	34,624
資産合計	3,384,306	2,672,098

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	4,070	44,810
リース債務	—	4,715
未払金	34,900	69,537
未払法人税等	14,894	11,074
未払消費税等	—	22,941
前受金	46,050	—
仮受金	871,779	234,950
その他	3,152	8,194
流動負債合計	974,846	396,223
固定負債		
長期借入金	191,490	146,680
リース債務	—	9,897
長期末払金	196	—
繰延税金負債	—	2,032
資産除去債務	—	6,775
固定負債合計	191,686	165,385
負債合計	1,166,533	561,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,596,272	1,600,178
新株式申込証拠金	5,040	—
資本剰余金		
資本準備金	1,586,272	1,590,178
資本剰余金合計	1,586,272	1,590,178
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△969,992	△1,082,208
利益剰余金合計	△969,992	△1,082,208
自己株式	—	△28
株主資本合計	2,217,592	2,108,120
新株予約権	180	2,368
純資産合計	2,217,772	2,110,488
負債純資産合計	3,384,306	2,672,098

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高	585,161	897,422
売上原価	255,414	478,080
売上総利益	329,747	419,342
販売費及び一般管理費	428,812	526,259
営業損失(△)	△99,065	△106,917
営業外収益		
受取利息	20	28
為替差益	9,659	—
助成金収入	1,919	185
講演料等収入	755	443
その他	111	26
営業外収益合計	12,466	684
営業外費用		
支払利息	869	1,444
為替差損	—	294
株式交付費	6,775	185
上場関連費用	19,569	—
その他	60	—
営業外費用合計	27,274	1,924
経常損失(△)	△113,873	△108,156
特別利益		
固定資産売却益	20	—
特別利益合計	20	—
特別損失		
固定資産除却損	87	0
減損損失	109,628	—
特別損失合計	109,716	0
税引前当期純損失(△)	△223,569	△108,156
法人税、住民税及び事業税	10,754	2,025
法人税等調整額	—	2,032
法人税等合計	10,754	4,058
当期純損失(△)	△234,324	△112,215

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	新株式申込証拠金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
			資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	773,100	—	763,100	763,100	△735,668	△735,668	—	800,531	180	800,711
当期変動額										
新株の発行	823,172	5,040	823,172	823,172				1,651,385		1,651,385
当期純損失(△)					△234,324	△234,324		△234,324		△234,324
自己株式の取得								—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									—	—
当期変動額合計	823,172	5,040	823,172	823,172	△234,324	△234,324	—	1,417,060	—	1,417,060
当期末残高	1,596,272	5,040	1,586,272	1,586,272	△969,992	△969,992	—	2,217,592	180	2,217,772

当事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	新株式申込証拠金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
			資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	1,596,272	5,040	1,586,272	1,586,272	△969,992	△969,992	—	2,217,592	180	2,217,772
当期変動額										
新株の発行	3,906	△5,040	3,906	3,906				2,772		2,772
当期純損失(△)					△112,215	△112,215		△112,215		△112,215
自己株式の取得							△28	△28		△28
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									2,188	2,188
当期変動額合計	3,906	△5,040	3,906	3,906	△112,215	△112,215	△28	△109,471	2,188	△107,283
当期末残高	1,600,178	—	1,590,178	1,590,178	△1,082,208	△1,082,208	△28	2,108,120	2,368	2,110,488

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△223,569	△108,156
減価償却費	25,110	7,063
減損損失	109,628	—
株式報酬費用	—	1,408
固定資産売却益	△20	—
固定資産除却損	87	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,624	△2,979
受取利息及び受取配当金	△20	△28
助成金収入	△1,919	△185
支払利息	869	1,444
上場関連費用	19,569	—
株式交付費	6,775	185
売上債権の増減額(△は増加)	77,189	87,640
棚卸資産の増減額(△は増加)	△113,803	△48,488
立替金の増減額(△は増加)	△379,775	353,580
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△17,747	11,279
未払金の増減額(△は減少)	△53,676	32,072
未払又は未収消費税等の増減額	△7,498	28,834
前受金の増減額(△は減少)	29,710	△46,050
仮受金の増減額(△は減少)	871,608	△636,829
その他の流動負債の増減額(△は減少)	7,358	1,098
その他	—	46
小計	347,251	△318,068
利息及び配当金の受取額	20	28
助成金の受取額	1,919	185
利息の支払額	△869	△1,444
法人税等の支払額	△10,757	△1,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	337,564	△321,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△46,316	△12,956
有形固定資産の売却による収入	20	—
無形固定資産の取得による支出	△7,596	△453
定期預金の払戻による収入	17,415	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,477	△13,410
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	1,639,570	2,772
長期借入金の返済による支出	△4,440	△4,070
リース債務の返済による支出	△5,587	△4,567
自己株式の取得による支出	—	△28
その他	△16,729	594
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,612,812	△5,299
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,913,899	△339,908
現金及び現金同等物の期首残高	827,069	2,740,969
現金及び現金同等物の期末残高	2,740,969	2,401,060

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前事業年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

当社はバイオリファイナリー事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

当社はバイオリファイナリー事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	198.51円	186.93円
1株当たり当期純損失金額(△)	△22.33円	△9.97円

注1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	2,217,772	2,110,488
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	5,220	2,368
(うち新株式申込証拠金(千円))	(5,040)	(—)
(うち新株予約権(千円))	(180)	(2,368)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,212,552	2,108,120
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	11,146,000	11,277,664

3. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
当期純損失(△)(千円)	△234,324	△112,215
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△234,324	△112,215
普通株式の期中平均株式数(株)	10,493,003	11,253,925
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権4種類(新株予約権の数2,247個)	新株予約権4種類(新株予約権の数1,835個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。